

ナラティヴ
企画展 死と再生の物語
——中国古代の神話とデザイン——



2025.6.7 (sat) - 7.27 (sun)

Thematic Exhibition Narrative of Death and Rebirth
—Mythology and Design in Ancient China

同時開催 「泉屋ビエンナーレSelection」

《展覧会概要》

高度な文明が発達した中国古代では、すぐれた技術によってさまざまな文物が作りだされ、それらには現代の眼にも斬新で刺激的なデザインの数々がほどこされました。わたしたちの感覚からはかけ離れているようにも思えるこうしたデザインは、いったいどのような思想のもとに生みだされてきたのでしょうか。

本展覧会では、館蔵の青銅鏡の名品を中心として、中国古代の洗練されたデザイン感覚、その背景となった神話や世界観をご紹介します。そのうえで本展覧会では「動物／植物」「天文」「七夕」「神仙への憧れ」という主に4つの観点から、デザインの背景を読み解いていき、さらには日本美術に与えた影響についてもご紹介いたします。

《本展のみどころ》

①世界屈指と称される住友コレクションの青銅器・青銅鏡から名品を選びすぐって公開。

中国古代のすぐれたデザイン感覚を心ゆくまでお楽しみいただけます。

②デザインの背景にある物語、神話を丁寧に解説し、 中国古代のデザインに秘められた謎にせまっていきます。

はじめはとっつきにくかった中国美術も、背景知識とともに見ることで一気に親しみやすく！

③中国古代に生まれた物語・デザインが、日本美術に受け継がれる様にも注目！

日本でもよく知られた七夕伝説も題材に取り上げ、季節感もありつつ、悠久の歴史を感じられる構成となっています。夏休みの自由研究にもぜひ！

④展覧会の関連行事も充実。

プラネタリウムとのコラボなど、これまでになかった新しい形で中国美術に親しむイベントを各種ご用意しています。近隣施設とも連携しながら、めずらしいテーマの展覧会を盛り上げていきます。

⑤京都本館のリニューアルにあわせ、新たな青銅器グッズも登場！

ほかでは手に入らないオリジナルグッズをゲットして、ぜひSNS等で発信してください。

《基本情報》

展覧会名 企画展 死と再生の物語(ナラティヴ) ——中国古代の神話とデザイン——
同時開催「泉屋ビエンナーレSelection」

会 期 2025年6月7日(土)～7月27日(日)

開館時間 11:00～18:00 ※金曜日は19:00まで開館 ※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 月曜日、7/22（火）（7/21は開館）

入 館 料 一般1,200円(1,000円)、学生600円(500円)、18歳以下無料

※学生・18歳以下のかたは証明書のご呈示が必要です

※20名様以上の団体は()内の割引料金

※障がい者手帳等ご呈示の方はご本人および同伴者1名まで無料

会 場 泉屋博古館東京

〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1

<https://sen-oku.or.jp/tokyo/>

TEL:050-5541-8600(ハローダイヤル)

主 催 公益財団法人泉屋博古館、日本経済新聞社

後 援 TOKYO MX、港区教育委員会

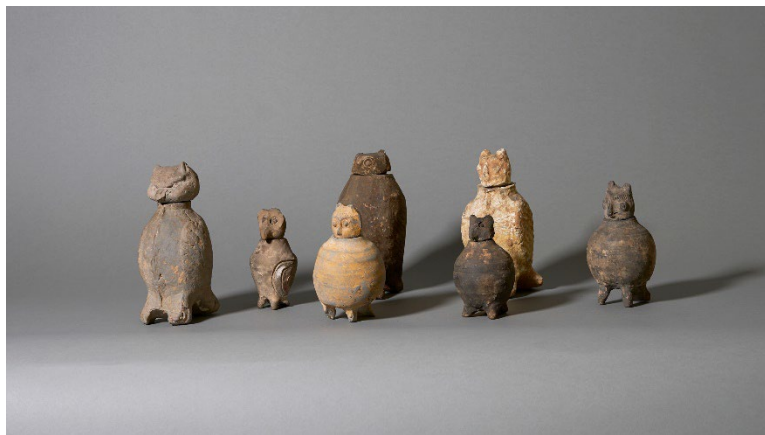
《展示構成》（予定）

中国古代では空想上、実在のさまざまな動物たちがデザイン上に登場します。こうした動物たちは単なるモチーフではなく、天と地をつなげる媒介としての性質が与えられていました。この性質がベースとなって、鏡や画像石といった当時の文物の上で重要な役割を果たすようになります。そこには青々と生い茂る植物もあらわされ、「世界樹」の思想にも通ずるデザインが、古代人々の信仰する生命力の象徴として、動物たちとともに独創的な世界観をつくりあげていきます。

第1章 天地をつなぐ動物たち



鸛鵒尊 中国・殷（前13-前12世紀）
重要美術品 泉屋博古館



鸛鵒尊 中国・前漢（前2-後1世紀）
早稲田大学會津八一記念博物館



戈卣 中国・殷（前12-前11世紀）
泉屋博古館



鍍金酒樽 中国・前漢（前1世紀）
泉屋博古館



羽文簋 中国・前漢（前1世紀）
泉屋博古館



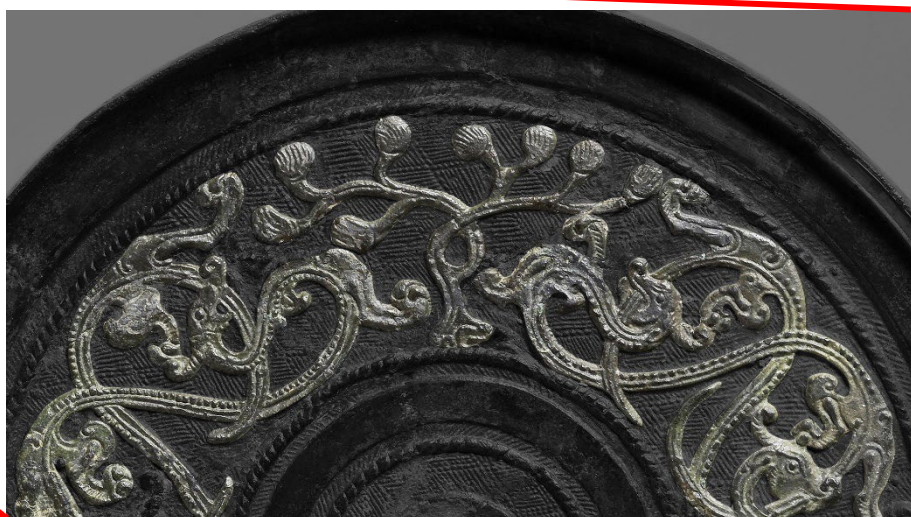
蟠螭文鏡 中国・秦（前3世紀）
泉屋博古館

《展示構成》（予定）

第2章 生命のシンボル——聖なる樹のもとに



蟠螭樹木文鏡
中国・前漢（前2世紀）
泉屋博古館



蟠螭樹木文鏡（部分拡大）

中央には幹が二股に分かれ、先端に8つのつぼみをつけた樹木が生え、その左右両側には胴体をくねらせた龍の文様があらわされる。螭は龍の一種で、若くて黄色い龍、あるいは角のない龍をさすという。その螭が蟠踞（とぐろを巻いてうずくまる）する姿をあらわした文様。



草葉文鏡
中国・前漢（前2世紀）
泉屋博古館

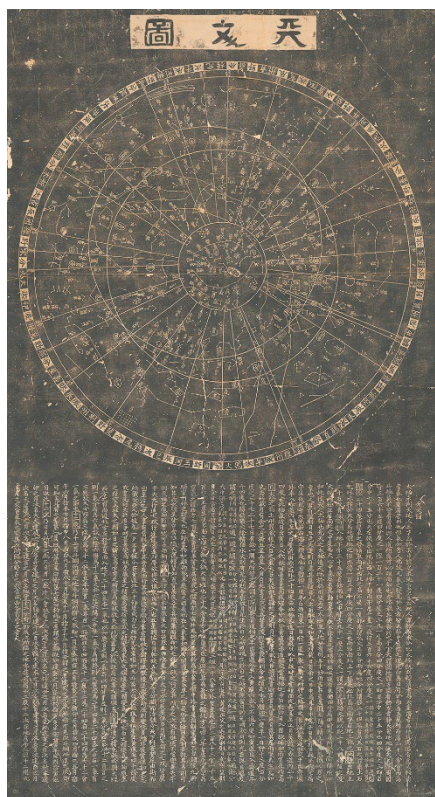
当時の人々にとっては、天文の知識は生活上に必要であるだけでなく、世界で起こるさまざまな出来事を前もって知るための技術でもありました。こうした性質は、その出現がよい出来事の前触れとされた獣たち——瑞獣——と関連しつつ、デザイン上にも表現されるようになります。日本でもよく知られた四神なども、こうした古代の天文学と密接にかかわるモチーフでした。

天文にかかわる物語としては、七夕伝説も外すことができません。牽牛と織女の恋物語は、不老不死をつかさどるとされる仙女、西王母とも関係しながら、死と再生をめぐる当時の人々の思いやイメージを反映していました。現代の日本にまで脈々と受け継がれている七夕伝説の源とイメージの変遷を、中国古代の鏡や画像石、さらには日本の近世・近代絵画も交えてご紹介します。

漢代では西王母の信仰が爆発的に流行したことが歴史書にも記されています。こうした傾向は不老不死の神仙に対する憧れが高まり、神仙思想が社会のなかで広まっていったことと関係しますが、そのトレンドは鏡の紋様にも大きく影響を与えています。さまざまな神仙があらわれ、所持した者に現世的な利益をもたらすことを銘文に謳う神獸鏡は、日本列島にも数多くもたらされ、古墳にも副葬されるようになります。重要文化財7面を含む館蔵の名品を中心に、その過程を追いかけます。

《展示構成》（予定）

第3章 鏡に映る宇宙



淳祐天文図 中国・南宋淳祐7年（1247）
コスモプラネタリウム渋谷



方格規矩四神鏡
中国・前漢末（前1世紀-後1世紀）
泉屋博古館



重列神獸鏡
中国・後漢（2世紀）
泉屋博古館



尾竹竹坡《寿老人図》
日本・明治（20世紀）
泉屋博古館東京

第4章 西王母と七夕



月兔八棱鏡
中国・唐（8世紀）
泉屋博古館



神人龍虎画像鏡
中国・後漢（2世紀）
泉屋博古館



円山応震《西王母図》
日本・江戸（19世紀）
泉屋博古館



上島鳳山《十二ヶ月美人》の
うち《七月 七夕》
日本・明治42年（1909）
泉屋博古館東京



上島鳳山《十二ヶ月美人》の
うち《八月 嫦娥》
日本・明治42年（1909）
泉屋博古館東京

《展示構成》（予定）

第5章 神仙への憧れ、そして日本へ



細線獣帯鏡
中国・前漢（前2世紀）
泉屋博古館



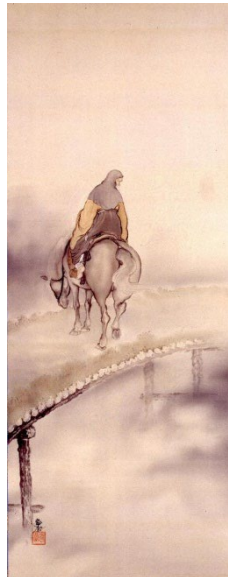
重要文化財
四獣形鏡
日本・古墳中期（5世紀）
泉屋博古館



重要文化財
画文帯同向式神獣鏡
中国・後漢末～三国
（3世紀）
泉屋博古館



重要文化財
三角縁四神四獣鏡
中国・三国（3世紀）
泉屋博古館



尾竹国観
《黄石公張良図》
日本・明治（20世紀）
泉屋博古館東京

同時開催「泉屋ビエンナーレSelection」

2021年・2023年に泉屋博古館（京都東山・鹿ヶ谷）で開催された「泉屋ビエンナーレ」は、新進気鋭の鋳金作家の方々に約3000年前の中国古代青銅器からインスピレーションを受けた新作を制作いただき、おなじ会場内に陳列することで、時空を超えた対話を体験いただける新たな取組みの展示でした。2回のビエンナーレ出展作品の中から選りすぐりの作品を東京でもご紹介します。はるか古代から連綿とつづく鋳金の技術はどこからきて、そしてどこへと向かっていくのか。ひびきあう聲と聲のなかから生まれた、鋳金芸術の最先端をご覧ください。



佐治真理子《きいてみたいこと ～Who are you?～》
2021年 泉屋博古館蔵



久野彩子《time capsule》
2023年 泉屋博古館蔵

《会期中のイベント》（予定）

※全て当日の観覧券が必要になります

※予約制プログラムは5月23日(金)正午よりホームページにて受付開始予定（先着順）

1 クロストーク「中国古代の神話と星座」

[日 時] 6月15日（日） 14：00～15：30

[定 員] 50名（予約制）

[講 師] 北里麻実氏（港区立みなと科学館プラネタリウム解説員）、山本堯（泉屋博古館学芸員）

[協 力] 港区立みなと科学館

2 「古鏡の世界に触れる——オブジェクト・ベースト・ラーニングwith KeMCo」

[日 時] 6月24日（火） 18:30～20:00

[会 場] 慶應義塾ミュージアム・コモنز（KeMCo）5階実習室

東京都港区三田2-15-45

[講 師] 渡部葉子氏（慶應義塾大学アート・センター教授・キュレーター／

慶應義塾ミュージアム・コモنز副機構長）、

本間友氏（慶應義塾ミュージアム・コモنز専任講師／慶應義塾大学アート・センター所員）、

山本堯（泉屋博古館学芸員）

[内 容] オブジェクト・ベースト・ラーニング（OBL）は参加者が作品を実際に手にとり、参加者同士が対話をしながら、作品に対する理解を深めるイベントです。

このイベントでは慶應義塾ミュージアム・コモنز（KeMCo）の協力のもと、センチュリー赤尾コレクションの古鏡の実物を使用します。

[協 力] 慶應義塾ミュージアム・コモنز（KeMCo）

3 記念講演会「天の河を渡ること——牽牛・織女神話の意味」

[日 時] 7月6日（日） 14：00～15：30

[定 員] 50名（ウェブ予約制、先着順）

[講 師] 小南一郎（泉屋博古館名誉館長）

4 〈アートwith〉レクチャー「包み・運び・飾る——美術品輸送の世界（仮）」

[日 時] 7月11日（金） 17：30～18：30

[定 員] 50名（ウェブ予約制、先着順）

[講 師] 日本通運株式会社 関東美術品支店作業員

5 スライドトーク

[日 時] 7月5日・19日（各土） 各14：00～15：00

[講 師] 山本堯（泉屋博古館学芸員）

《お問い合わせ先》

泉屋博古館東京

展覧会担当：山本 堯（泉屋博古館学芸員）、椎野晃史（泉屋博古館東京 主任学芸員）

広報担当：橋本旦子

TEL: 03-3584-8136 FAX: 03-3584-8137 E-mail : pr-tokyo@sen-oku.or.jp

《貸出可能画像・キャプション一覧》

画像ダウンロード (ARTPR)

QRコードはこちら▷▷



URL : <https://www.artpr.jp/senoku-tokyo/mythology-and-design-in-ancient-china>

部分図掲載の際は、作品名の後に（部分）等
付記くださいますようお願いいたします



重要美術品
《鶯鶯尊》
中国・殷
(前13-前12世紀)
泉屋博古館



《鶯鶯尊》中国・前漢
(前2-後1世紀)
早稲田大学會津八一
記念博物館



《戈卣》中国・殷
(前12-前11世紀)
泉屋博古館



《蟠螭樹木文鏡》
中国・前漢
(前2世紀)
泉屋博古館



《方格規矩四神鏡》
中国・前漢末
(前1世紀-後1世紀)
泉屋博古館



《月兔八棱鏡》
中国・唐 (8世紀)
泉屋博古館



重要文化財
《画文帯同向式神獸鏡》
中国・後漢末～三国
(3世紀)
泉屋博古館



重要文化財
《三角縁四神四獸鏡》
中国・三国 (3世紀)
s
泉屋博古館



(部分)



(部分)



(部分)

上島鳳山
《十二ヶ月美人》のうち《七月七夕》
日本・明治42年 (1909) 泉屋博古館東京

上島鳳山
《十二ヶ月美人》のうち《八月 嫦娥》
日本・明治42年 (1909) 泉屋博古館東京

尾竹竹坡《寿老人図》
日本・明治(20世紀) 泉屋博古館東京



佐治真理子
《きいてみたいこと
～Who are you?～》
2021年
泉屋博古館蔵



久野彩子
《time capsule》
2023年
泉屋博古館蔵